



織部の心を現代に 受け継がれる創造の精神

美濃焼を代表する「織部焼」は、美濃桃山陶の集大成と言われ、その造形や色彩・文様は、現代の私たちにさえ前衛的で新鮮な印象を与えてくれます。織部焼発祥の地・土岐市では、このやきものが史実に登場した2月28日を「織部の日」と制定し、毎年この時期に記念行事を開催しており、今年で18回目を迎えます。

そこで今回は、この事業が市民にどう受け入れられているか、また今後どうあるべきかを当事業のイベントの一つである、中学生・東濃養護学校作陶展の審査員であり、織部の日実行委員でもある安藤博允さんと河合竹彦さんのお二人にお話を伺うとともに、2月25日(土)から開催される第18回織部の日記念事業のイベント内容をご紹介します。



対談風景

特別対談

織部の日記念事業に 寄せて

安藤：「織部」を全国へ、そして世界へ発信できたことは、本当に意義深いものがあったと思います。また、織部の心作陶展も今年で十七回目を迎え、ここからスタートし成長した陶芸作家もおり、全国的に美濃焼の産地としての知名度も上がり、イメージアップにつながったと思います。ただ市民の皆さんがどれだけこの「織部」について認識されているか少し疑問が残ります。

河合：実際のところ、やきものの「織部」は、器が緑色のものと思っておられる方も多いのではないのでしょうか。

安藤：丸いものをゆがませ変形させた器、そうした発想が「織部」なんです。創意工夫



今までを
振り返って

oribe spirit





河合竹彦さん(駄知町)

をして、いろいろな分野で新しい発想の元、何かを見だし新たなものを創造する。このチャレンジ精神が「織部の心」なんです。

河合：その点、中学生による作陶展などは大変いいと思います。欲をいえばもう少しジャンルにとらわれず、自由に作ってもらうと、もっと面白い展覧会(やきもの)になるのではないかと思います。指導される先生方の発想・技量などにも必要になってきます。

安藤：小さい時からやきものに接することは、将来の土岐市にとって大変よいことだと思います。この中から、やきものとかかわる人が少しでも育ってくれればと思っています。

ちびっこ・中学生などの作



安藤博允さん(下石町)

陶展では素晴らしい作品もあり、子どもたちの作品を見におじいちゃん・おばあちゃん・両親などが訪れる様子は、大変ほほ笑ましいものがあります。織部の日記念事業が市民に着実に定着するためには、今後二十回、三十回と続けていくことが大切だと思います。派手にではなく地道に続けていくことが、力になっていくと思います。

河合：土岐市は、全国的にも有数のやきものの産地として発展してきましたが、長引く不況や中国からの安価な陶磁器の台頭などにより、大量生産を主力としてきた土岐市の業界は大変な苦境に直面しています。今こそ「織部の心」で、この難局を打開していく必要があると思います。



安藤：こうした「織部」の源は、土岐市にあるのです。土岐市民として、そのことをもっと理解し、誇りに思ってもらいたいと思います。そして市民一丸となつて「織部の心」を外に発信していくことができれば、素晴らしいと思います。

河合：土岐市ではこのような記念事業の中で作陶展などの展覧会を開催できるといふことは、市民、そして陶芸に携わるものとして、他市の仲間から大変うらやましがられています。今後も続けてほしいと思っています。

安藤：市内作家の作品発表の場がないことなどもあり、事業の中で何年かに一回、土岐

市在住・出身の陶芸作家を紹介する展覧会があってもいいのではないかと思います。全国公募はそれなりにPR効果があり大切だと思いますが、市民にとって身近に感じる、そうした視点での事業も大切ではないかと思っています。

河合：その中で例えば、市民の方に「織部」を少しでも理解していただくために、美濃陶磁歴史館が所蔵する発掘した織部の出土品などをもっと展示し、織部の原点を見てもらうのもいいのではないのでしょうか。市民の方に「織部」を理解していただく、この事業の原点だと思います。私などは、見る視点により毎回新しい発見があり、時間がたつのも忘れて見えています。

安藤：多くの市民は、やきものが身近にあり過ぎ、その良さを忘れてるように感じられます。「織部」という球根があつて、それにしっかりと根を張り、枝葉を付け、どうやって花を咲かせるのか。それを考え、実践していくのは私たち市民だと思います。





織部の心を現代に
受け継がれる創造の精神

第18回

土岐市織部の日記念事業



❖ 会

期 2月25日(土)～3月5日(日)

午前9時～午後4時30分(初日は午前11時～)

❖ メイン会場 セラトピア土岐・多目的大ホール

伝統工芸品・ 陶芸作品即売会

oribe spirit



- ❖ 日時 2月25日(土)～3月5日(日)
午前9時～午後4時30分(初日は午前11時～)
- ❖ 場所 セラトピア土岐・多目的大ホール
- ❖ 内容 織部や志野などの美濃焼伝統工芸品や地元作家の陶芸作品を展示し、お値打ちな価格で販売します。



織部の心作陶展

oribe spirit



全国公募展・中学生作陶展・
東濃養護学校作陶展・ちびっこ作陶展



- ❖ 日時 2月25日(土)～3月5日(日)
午前9時～午後4時30分(初日は午前11時～)
- ❖ 場所 セラトピア土岐・多目的大ホール
- ❖ 内容 全国から集まった自由奔放・斬新な発想で創作された作品をはじめ、地元の子どもたちが織部の心で創作した力作を展示します。

織部の心講演会「やきものと文化」

oribe spirit



- ❖ 日時 3月5日(日) 午後1時30分～
- ❖ 場所 セラトピア土岐・大会議室
- ❖ 内容 榎本徹氏(岐阜県現代陶芸美術館館長)と、伊藤嘉章氏(東京国立博物館)の講演と対談を行います。



美濃陶磁歴史館特別展 「天下人とやきもの」

oribe spirit



- ❖ 会 期 2月25日(土)～5月7日(日)
- ❖ 場 所 美濃陶磁歴史館
- ❖ 内 容 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が生きた時代のやきものにスポットを当て、消費地のやきもののあり方を桃山時代以前と以降を比較し、展示します。



織部の日記念 「暮雪庵茶会」

oribe spirit



- ❖ 日 時 3月4日(土)・5日(日)
午前10時～午後3時30分
- ❖ 場 所 織部の里公園・暮雪庵
- ❖ 内 容 一服 500円(数に限りがあります)

市民茶会と 長唄・琴の調べ

oribe spirit



- ❖ 日 時 ▷ 茶会＝2月25日(土)・26日(日) 午前10時～午後4時(25日は午前11時～) ▷ 長唄・琴＝2月26日(日) 午前10時～午後4時
- ❖ 場 所 セラトピア土岐・多目的大ホール
- ❖ 内 容 長唄や琴の演奏を聞きながら、市茶華道連盟の皆さんがたてるお茶(300円)を楽しめます。

「織部の心」美術作家連盟 春季展・作品頒布会

oribe spirit



- ❖ 日 時 2月25日(土)～3月5日(日)
午前9時～午後4時30分(初日は午前11時～)
- ❖ 場 所 セラトピア土岐・多目的大ホールおよび美術ギャラリー
- ❖ 内 容 市美術作家連盟会員の作品を美術ギャラリーで展示。多目的大ホールでは、作品の販売を行います。



織部の日記念事業に関するお問い合わせは、文化振興課(内線554)へどうぞ。

